

大阪マラソン組織委員会(第14回)

日 時 平成27年2月10日(火) 15時～

場 所 KKRホテル大阪 3階「銀河」

出席者 (別紙のとおり)

次 第 ○はじめに

○議 事

- 1 大阪マラソン組織委員会設置要綱の一部改正について
- 2 第4回大阪マラソンについて(結果報告)
- 3 第5回大阪マラソンについて
 - (1) 大会要項について
 - (2) マラソンコースについて
 - (3) ランナー募集について
 - (4) チャリティ事業について
 - (5) ボランティアについて
- 4 今後の主なスケジュールについて

○おわりに

【配布資料一覧】

- | | |
|----------------------------|-------|
| ■ 大阪マラソン組織委員会設置要綱の一部改正について | 《資料1》 |
| ■ 第4回大阪マラソンについて | 《資料2》 |
| ■ 第5回大阪マラソン 大会要項(案) | 《資料3》 |
| ■ マラソンコースについて | 《資料4》 |
| ■ ランナー募集について | 《資料5》 |
| ■ チャリティ事業について | 《資料6》 |
| ■ ボランティアについて | 《資料7》 |
| ■ 今後の主なスケジュールについて | 《資料8》 |

出席委員名簿 大阪マラソン組織委員会(第14回)

役職	氏名	所属
顧問	岡沢 健二	大阪府議会議長
会長	松本 正義	一般財団法人大阪陸上競技協会会長
副会長	小西 禎一	大阪府副知事
副会長	村上 龍一	大阪市副市長
副会長	竹内 章	一般財団法人大阪陸上競技協会専務理事
委員	弘中 喜通	読売新聞大阪本社代表取締役社長
委員	北尾 一	大阪市地域振興会会長
委員(代理)	南部 達彦	公益社団法人関西経済連合会 産業部副参与
委員(代理)	川端 啓恵	大阪商工会議所地域振興部課長
委員(代理)	本田 勝士	公益財団法人大阪体育協会事務局長
委員	斉喜 博美	大阪府スポーツ推進委員協議会会長
委員	新堂 友衛	大阪市体育協会会長
委員	首藤 俊二	大阪市体育厚生協会会長
委員	橋爪 静夫	大阪府障がい者スポーツ振興協会会長
委員	山田 俊平	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会理事長
委員(代理)	岡本 昇	国土交通省近畿運輸局 企画観光部観光地域振興課課長補佐
委員(代理)	横田 英紀	阪神高速道路株式会社 経営企画部経営企画課課長代理
委員	大江 桂子	大阪府府民文化部長
委員	岡本 圭司	大阪府府民文化部都市魅力創造局長
委員	植山 勝秀	大阪府教育委員会事務局教育振興室保健体育課長

役 職	氏 名	所 属
委員	井上 雅之	大阪市経済戦略局長
委員	藤本 昌信	大阪市交通局長
委員	岩橋 潔	大阪市経済戦略局スポーツ部長
委員	北田 耕之	一般財団法人大阪陸上競技協会副専務理事
委員	上田 重隆	一般財団法人大阪陸上競技協会副専務理事
委員	藤野 隆雄	株式会社ケイ・オプティコム代表取締役社長
監事	樋元 四郎	一般財団法人大阪陸上競技協会事務局長

欠席者

顧問：松井大阪府知事、橋下大阪市長、床田大阪市会議長

委員：大阪府商店街連合会会長・大阪府商店街振興組合連合会 辰野理事長、

大阪市商店会総連盟角理事長、

一般社団法人関西経済同友会 加藤代表幹事、

公益財団法人大阪観光コンベンション協会 福島会長、

大阪府体育連合 森山会長、

大阪市スポーツ推進委員協議会 靄田会長

一般社団法人大阪府医師会 伯井会長、

国土交通省近畿地方整備局 森局長

監事：大阪商工会議所 児玉常務理事・事務局長

※ご欠席の委員の方々からは、会長あての委任状をいただいております。

大阪マラソン組織委員会設置要綱

(設置)

第1条 大阪マラソン開催に必要な事業・運営計画の検討・実施など、その具体的な開催業務を推進していくため、大阪マラソン組織委員会(以下、「委員会」と言う。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 大阪マラソン開催にかかる事業・運営計画の検討・実施及び同マラソンの開催に伴い実施する関連事業の企画・実施
- (2) その他、前項の目的を達成するために必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、別表に掲げる委員をもって組織する。

2 委員会に会長、副会長を置き、委員の互選によりこれらを選出する。

(任期)

第4条 委員の任期は平成28年3月31日までとする。

2 委員会の委員は会長が委嘱する。

(会長及び副会長の職務)

第5条 会長は、委員会を代表し、委員会を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名する副会長がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 会議は委員の過半数の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって議決する。

なお、可否同数のときは、議長が決する。

3 会議に出席できない委員は、書面または代理人をもって表決に加わることができる。

4 前項の場合には、第2項の規定の適用については、出席したものとみなす。

(関係者の出席)

第7条 委員会が必要であると認めた場合は委員以外の関係者の出席を求め、その意見等を聴取することができる。

(専門部会等の設置)

第8条 委員会の事務を補助させるため、委員会に専門部会を置くことができる。

2 専門部会は、会長の命を受け、必要な事項を調査検討し、会長に報告する。

(監事)

第9条 事業の適正な執行を確保するため、監事2名を置く。

2 監事は、事業の執行状況及び会計の監査を行い、その結果を委員会に報告する。

(事務局)

第10条 事業の遂行に必要な事務処理を行うため、大阪市住之江区南港北1-14-16
大阪府咲洲庁舎35階に事務局を置く。

2 事務局には事務局長その他の職員を置く。

3 事務局長は、会長の命を受け、委員会の業務を総括的に処理する。

4 事務局長は、会長が任命する。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の実施に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年9月10日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年1月24日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年2月14日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年5月30日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年6月7日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年2月16日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年7月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年8月10日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年9月11日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年11月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年6月13日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年9月11日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年3月27日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年6月9日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年10月25日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年2月10日から施行する。

別表(第3条関係)

役 職	氏 名	所 属
顧問	松井 一郎	大阪府知事
顧問	橋下 徹	大阪市長
顧問	岡沢 健二	大阪府議会議長
顧問	床田 正勝	大阪市会議長
会長	松本 正義	一般財団法人大阪陸上競技協会会長
副会長	小西 禎一	大阪府副知事
副会長	村上 龍一	大阪市副市長
副会長	竹内 章	一般財団法人大阪陸上競技協会専務理事
委員	弘中 喜通	読売新聞大阪本社代表取締役社長
委員	北尾 一	大阪市地域振興会会長
委員	辰野 邦次	大阪府商店街連合会会長・大阪府商店街振興組合連合会理事長
委員	角 正基	大阪市商店会総連盟理事長
委員	森 詳介	公益社団法人関西経済連合会会長
委員	佐藤 茂雄	大阪商工会議所会頭
委員	加藤 貞男	一般社団法人関西経済同友会代表幹事
委員	福島 伸一	公益財団法人大阪観光コンベンション協会会長

役 職	氏 名	所 属
委員	牧野 明次	公益財団法人大阪体育協会会長
委員	森山 一正	大阪府体育連合会長
委員	齊喜 博美	大阪府スポーツ推進委員協議会会長
委員	新堂 友衛	大阪市体育協会会長
委員	首藤 俊二	大阪市体育厚生協会会長
委員	靄田 雄二	大阪市スポーツ推進委員協議会会長
委員	橋爪 静夫	大阪府障がい者スポーツ振興協会会長
委員	山田 俊平	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会理事長
委員	伯井 俊明	一般社団法人大阪府医師会会長
委員	森 昌文	国土交通省近畿地方整備局長
委員	土屋 知省	国土交通省近畿運輸局長
委員	山澤 俱和	阪神高速道路株式会社代表取締役社長
委員	大江 桂子	大阪府府民文化部長
委員	岡本 圭司	大阪府府民文化部都市魅力創造局長
委員	植山 勝秀	大阪府教育委員会事務局教育振興室保健体育課長
委員	井上 雅之	大阪市経済戦略局長
委員	藤本 昌信	大阪市交通局長
委員	岩橋 潔	大阪市経済戦略局スポーツ部長
委員	北田 耕之	一般財団法人大阪陸上競技協会副専務理事
委員	上田 重隆	一般財団法人大阪陸上競技協会副専務理事
委員	藤野 隆雄	株式会社ケイ・オプティコム代表取締役社長
監事	児玉 達樹	大阪商工会議所常務理事・事務局長
監事	樋元 四郎	一般財団法人大阪陸上競技協会事務局長

「第4回大阪マラソン」について

- 1 大会名 「第4回大阪マラソン ～OSAKA MARATHON 2014～」
- 2 開催日 平成26年10月26日（日）
- 3 主催 大阪府・大阪市・一般財団法人大阪陸上競技協会
- 4 共催 読売新聞社
- 5 主管 一般財団法人大阪陸上競技協会
- 6 運営協力 大阪身体障害者陸上競技協会
- 7 後援

30 団体

 公益財団法人日本陸上競技連盟、大阪市地域振興会、大阪府商店街連合会、大阪府商店街振興組合連合会、大阪市商店会総連盟、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会、公益財団法人大阪観光コンベンション協会、公益財団法人大阪体育協会、大阪府体育連合、大阪府スポーツ推進委員協議会、大阪市体育協会、大阪市体育厚生協会、大阪市スポーツ推進委員協議会、一般財団法人大阪スポーツみどり財団、大阪府障がい者スポーツ振興協会、社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会、一般社団法人大阪府医師会、一般社団法人大阪府病院協会、公益社団法人大阪府看護協会、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、阪神高速道路株式会社、社会福祉法人読売光と愛の事業団、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会報知新聞社、株式会社毎日放送、読売テレビ放送株式会社
 <順不同>
 - ※メインスポンサー 株式会社ケイ・オブティコム
 - ※オフィシャルスポンサー

19 企業

 ミズノ株式会社、株式会社ダスキン、大和ハウス工業株式会社、久光製薬株式会社、コカ・コーラウエスト株式会社、アサヒビール株式会社、セイコーホールディングス株式会社、関西大学、読売新聞社、株式会社アドバンスクリエイト、近畿日本ツーリスト株式会社、株式会社フォトクリエイト、日本通運株式会社、大阪シティ信用金庫、株式会社ワン・ダイニング、トヨタ自動車株式会社、住友電気工業株式会社、岩谷産業株式会社 <順不同>
 - ※サポーター FM802、江崎グリコ株式会社、株式会社ドール、東京海上日動火災保険株式会社、日本光電関西株式会社 <順不同>

8 種 目 マラソン

併設レース：車いすマラソン（フル）

チャレンジラン [8.8km]

9 参加者等

	マラソン (42.195 km)	チャレンジラン (8.8 km)	合 計
定 員	28,000人	2,000人	30,000人
エントリー (H26.4.3~5.8)	137,768人	7,705人	145,473人
出走者数	29,942人 (車いす21人含む)	2,039人	31,981人
完走者数	28,088人 (車いす21人含む)	2,015人	30,103人
完走率	93.8%	98.8%	94.1%

《参考：出走者ベース》

(1) 国内都道府県別（国内参加：28,743人）

① 大阪府（11,923人[41.4%]） ② 兵庫県（3,857人[13.4%]）

③ 東京都（2,099人[7.3%]）

(2) 国外居住地別（国外からの参加：3,238人）

① 中国（1,376人，香港・マカオ含む） ② 台湾（1,292人）

③ タイ（82人）

(3) 完走者最高年齢（フルマラソン）

男性：89歳，女性：80歳

10 参加ボランティア 延べ9,386人

（内訳）コース管理：8,451人，マラソンEXPO：906人，

力持ちボランティア（自転車運搬補助業務）：29人

11 制限時間 7時間

12 コース

スタート：大阪城公園前

フィニッシュ：インテックス大阪

主な通過点：御堂筋・道頓堀・中之島・大阪市中央公会堂

京セラドーム大阪・なんば駅・通天閣周辺

南港周辺など

※公益財団法人日本陸上競技連盟及び

AIMS（国際マラソン・ロードレース協会）公認コース

13 総事業費 約13.3億円

14 その他

①給水《給水所：15カ所》

(スポーツドリンク：2ℓ：21,700本、500mℓ：32,400本)
(水：2ℓ：33,200本)

②給食《給食所：4カ所》

(バナナ：6万本、クリームクッキー10万個、塩飴：1万個
一口パン：3万個 など)

※32.5 km地点では大阪市商店会総連盟が大阪マラソン公式給食エイドを運営(おやついなり、キュウリ、コロッケなどを提供)

③仮設トイレ等 703基

④大阪マラソン沿道応援イベント『ランナー盛上げ隊!』

(コース沿道15カ所、出演団体：93組

音楽ライブ・よさこい踊り・合唱・ダンス・フリディグ など)

⑤沿道人数 1,300,000人

⑥苦情件数 17件

⑦問い合わせ件数 287件

⑧医事・救護

救護所利用件数：2,760件(うちAED使用件数：0件、
救急搬送件数：62件)

※救護スタッフ837人

内訳：医師130人・看護師126人(メディカルワンを含む)、
移動AED隊36人、トレーナー91人 など

⑨テレビ中継(10/26)

- ・読売テレビ(YTV) 9:55~11:25 視聴率8.8%
- ・毎日放送(MBS) 13:00~14:24 視聴率5.8%
- ・eo光テレビ eo光チャンネル 8:40~16:10

【大阪マラソン EXPO2014】

1 日 程 平成26年10月24日(金)~26日(日)

2 時 間 11:00~20:00

(ただし26日は10:00~17:00)

3 場 所 インテックス大阪1・2・3号館

4 出展社数 106社(企業ブース60社、うまいもん市場46社)

5 入場者数 119,300人

【チャリティ募金】

区 分	金 額
ランナー参加料入金時の募金(例:個人@500円×2口以上)	47,203,500円
なないろチャリティTシャツ販売による寄付金	22,510,000円
ニックネーム入りナンバーカード販売による寄付金	483,400円
大阪マラソン特設サイト募金 (チャリティランナーによる寄付金額含む)	30,910,100円
公式イベントでの募金 (6/15FunRun、10/19大阪ごちそうマラソン)	45,983円
府内商店街等との連携イベント等での募金	27,006円
協賛社からの募金	260,169円
大阪マラソン EXPO2014 のチャリティランナー等での募金 (10/24~26)	2,047,134円
チャリティオークション(10/25 大阪マラソン EXPO2014)	213,102円
コース沿道での募金(10/26)	177,500円
大阪マラソンチャリティ寄付先団体の募金活動による寄付金	746,125円
その他の募金活動による寄付金	3,090円
合 計	104,627,109円

【RUN as ONE-Tokyo Marathon 「2015大会 準エリートの部」への推薦】

東京マラソン財団が、2月22日(日)に開催する「東京マラソン2015」に、全国の提携大会の成績上位者1,000人が出場できる「準エリートの部」を新設。

第4回大阪マラソンが提携大会に決定し、成績上位者(20人:男女各10人)を「東京マラソン2015」の出場者として推薦。

《第4回大阪マラソン 競技結果》

1. 車いすの部 (男子)

	氏名	所属	記録
1位	にしだ ひろき 西田 宗城	大阪 バカラパシフィック	1時間29分40秒
2位	しまだ かずひこ 島田 一彦	茨城	1時間41分21秒
3位	しおた きよたか 塩田 清高	埼玉	1時間41分40秒

2. マラソン男子の部

	氏名	所属	記録
1位	ジャクソ・牦	ケニア	2時間11分43秒 ※大会新
2位	なかお ゆうせい 中尾 勇生	静岡 スズキ浜松アスリートクラブ	2時間14分02秒
3位	まつもと しょう 松本 翔	東京 日税ビジネスサービス	2時間14分54秒

3. マラソン女子の部

	氏名	所属	記録
1位	マリナ・ダマツエビッチ	ベラルーシ	2時間33分04秒
2位	よしまつ ひさえ 吉松 久恵	山口 周南市役所	2時間39分33秒
3位	やまぐち はるか 山口 遥	東京 AC・KITA	2時間45分34秒

【シカゴマラソン賞】

	氏名	記録	備考
大阪在住男性1位	もりかわ ともみち 森川 友道	2時間29分56秒	第38回シカゴマラソン (2015.10.11)招待
大阪在住女性1位	うえの えいこ 上野 映子	2時間48分06秒	

第5回大阪マラソン 大会要項（概要）

■大会名称 (英文名)	第5回大阪マラソン ～OSAKA MARATHON 2015～ Osaka Marathon 2015
■主催	大阪府、大阪市、一般財団法人大阪陸上競技協会
■共催	読売新聞社
■主管	一般財団法人大阪陸上競技協会
■運営協力	大阪身体障害者陸上競技協会
■後援	公益財団法人日本陸上競技連盟 大阪府地域振興会、大阪府商店街連合会、大阪府商店街振興組合連合会、 大阪市商店会総連盟、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、 一般社団法人関西経済同友会、大阪観光局、公益財団法人大阪体育協会、 大阪府体育連合、大阪府スポーツ推進委員協議会、大阪市体育協会、 大阪市体育厚生協会、大阪市スポーツ推進委員協議会、 一般財団法人大阪スポーツみどり財団、大阪府障がい者スポーツ振興協会、 社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会、一般社団法人大阪府医師会、 一般社団法人大阪府病院協会、公益社団法人大阪府看護協会、 国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、阪神高速道路株式会社、 社会福祉法人読売光と愛の事業団、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、 株式会社報知新聞社、株式会社毎日放送、読賣テレビ放送株式会社 <順不同> 株式会社ケイ・オプティコム
■メインスポンサー	ミズノ株式会社、株式会社ダスキン、大和ハウス工業株式会社、久光製薬株式会社、
■オフィシャルスポンサー	株式会社アドバンスクリエイト、株式会社フォトクリエイト、大阪シティ信用金庫、 トヨタ自動車株式会社、住友電気工業株式会社 他
■種目	(1)マラソン ①登録 ②一般 ③車いす (2)チャレンジラン(8.8km)
■開催日時	2015年(平成27年)10月25日(日) 8:55 車いすスタート 9:00 マラソン・チャレンジランスタート 10:50 チャレンジラン終了 16:00 マラソン終了
■コース(マラソン)	大阪城公園前をスタートし、インテックス大阪前をフィニッシュとする大阪マラソンコース <日本陸上競技連盟公認コース/AIMS公認コース>
■コース(チャレンジラン)	大阪城公園前～大阪市役所前(公認条件に適合せず記録は公認されない)
■競技規則	2015年度日本陸上競技連盟競技規則、日本パラ陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。
■制限時間	マラソン:①登録 ②一般/7時間 ③車いす/2時間20分、チャレンジラン:1時間50分 ※1 制限時間は、号砲を基準とする。 ※2 交通・警備、競技運営上、収容関門閉鎖時刻を設ける。収容関門以外においても著しく遅れた場合は、競技を中止させる。
■定員	マラソン:30,000人、チャレンジラン:2,000人
■参加資格	(1)マラソン 1997年(平成9年)4月1日以前に生まれたもの ①登録 日本陸上競技連盟登録競技者 ②一般 日本陸上競技連盟未登録者等 ※①②ともに、本大会が推薦する国内・国外の競技者を含み、6時間30分以内に完走できる者

③市民アスリート ①登録、②一般ともに、年代・性別毎に設定した基準タイム以内の記録
(日本陸上競技連盟公認またはAIMS公認コースで2013年(平成25年)4月1日以降のグロ
スタイム)を有する者計1,000人(大阪市民に限定したものではありません)

④車いす レース仕様車とする(日本パラ陸上競技連盟競技規則による)
※2013年(平成25年)4月1日以降の国内または国外の車いすレースにおいて
ハーフ:1時間10分以内 フルマラソン:2時間20分以内の記録を有する者。計30人
(2)チャレンジラン 2000年(平成12年)4月1日以前に生まれた者
1時間20分以内に完走できる男女(本大会が推薦する国内・国外の競技者を含む)
※車いすでの参加は不可

■参加料(市民アスリート) マラソン:国内 10,800円(国内のみ)
※チャリティ募金については、参加料とは別に1口500円を2口以上

■参加申込(市民アスリート)(1)方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る)
(2)期間 2015年(平成27年)4月2日(木)10時から4月17日(金)17時まで。
※先着順(1,000人)
※国内居住者で国内エントリーサイト(日本語版)からエントリーできる方に限る。
(3)参加者の決定 資格確認後に当選者に通知する。
(4)入金 当選者は指定期日までに指定口座に入金のこと。

■参加料(個人) マラソン:国内 10,800円 国外 13,000円
チャレンジラン:国内 5,400円 国外 6,500円
※チャリティ募金については、参加料とは別に1口500円を2口以上

■参加申込(個人)(1)方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る)
(2)期間 2015年(平成27年)4月6日(月)10時から5月8日(金)17時まで。
(3)参加者の決定 定員を超えた場合は抽選を行う。
※連続落選者枠を新設
第3回・第4回大阪マラソンに個人エントリー(エントリー時にマイページを保有されている方のみ)し連続で落選した方を、第5回大会のエントリー抽選時に優先的に抽選し、1,000人が当選。この抽選で外れた方は、一般エントリーに戻し抽選する(再エントリー不要)。
種目はマラソン(個人)のみ。

(4)入金 当選者は指定期日までに指定口座に入金のこと。
マラソン:1ペア(2人) 30,000円

※チャリティ募金については、参加料とは別に参加者1名につき1口500円を2口以上

■参加申込(ペア)(1)方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る)
(2)期間 2015年(平成27年)4月6日(月)10時から5月8日(金)17時まで。
(3)参加者の決定 定員を超えた場合は抽選を行う。
(4)入金 当選者は指定期日までに指定口座に入金のこと。

■参加料(グループ) マラソン:1グループ(3～7人まで)105,000円
※チャリティ募金については、参加料とは別に参加者1名につき1口500円を2口以上

■参加申込(グループ)(1)方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る)
(2)期間 2015年(平成27年)4月6日(月)10時から5月8日(木)17時まで。
(3)参加者の決定 定員を超えた場合は抽選を行う。
(4)入金 当選者は指定期日までに指定口座に入金のこと。

■参加者受付 2015年(平成27年)10月23日(金)・24日(土)
大阪マラソンEXPO2015会場(インテックス大阪)にて行う。
※大会当日(10月25日(日))には、受付を行わない。

■その他
(1)チャリティを実施する。
(2)主催者の責によらない事由で大会が中止の場合、参加料の返金等は一切行わない。
(3)本大会は、国内の関連するすべての法令を遵守し実施されるものとする。

マラソンコースについて

スタート：大阪城公園前

フィニッシュ：インテックス大阪

※日本陸上競技連盟公認コース／AIMS 公認コース



※マラソンコースについては、第1回大会から変更なし。

ランナー募集について

資料5

- 1. 種 目** マラソン（登録、一般、車いす）
チャレンジラン 8.8 km（登録、一般）
※登録：日本陸上競技連盟登録者

- 2. 参加定員** 32,000 人

(内訳) マラソン 30,000 人
・個人(登録、一般、車いす)、ペア、グループ 28,000 人
・市民アスリート 1,000 人 (個人のみ (車いす除く))
・連続落選者 1,000 人 (個人のみ (車いす除く))
チャレンジラン 2,000 人

※第4回大会まで 30,000 人 (マラソン 28,000 人、チャレンジラン 2,000 人)

- 3. 申込方法**

インターネット (PC・スマートフォンのみ)
(市民アスリート、個人 (車いす含む)、ペア、グループ)

- 4. 申込期間**

申込期間：4月6日 (月) 10時 から 5月8日 (金) 17時まで

※市民アスリート：4月2日 (木) 10時から4月17日 (金) 17時まで **【先着順】**

- 5. 申込区分・参加料等** ※チャリティ募金は「1口500円×2口以上」

種 目	申込区分	① 参加料	②チャリティ募金 (2口の場合)	合計金額 (①+②)
マラソン	個人 (市民アスリート、 車いすを含む)	10,800円	1,000円	11,800円
	ペア	30,000円 (15,000円×2人)	2,000円 (1,000円×2人)	32,000円
	グループ (3~7人)	105,000円	7,000円	112,000円
チャレンジラン	個人	5,400円	1,000円	6,400円

(注1) ペアエントリー及びグループエントリーについては大阪マラソン記念グッズ (人数分) を用意

(注2) 当選時、別途事務手数料が必要

6. 新たな申込区分

(1) 市民アスリート枠（定員 1,000 人）

登録、一般ともに、年代・性別毎に設定した基準タイム以内の記録（日本陸上競技連盟公認またはA I M S公認コースで2013年（平成25年）4月1日以降のグロスタイム）を有する者。

【基準タイム】

年代	男性	女性
18～39歳	03:00:00	03:40:00
40～49歳	03:15:00	03:45:00
50～59歳	03:25:00	04:00:00
60～69歳	03:50:00	04:30:00
70歳～	04:30:00	05:10:00

(2) 連続落選者枠（定員 1,000 人）

第3回・第4回大阪マラソンに個人エントリーし連続で落選した方を、第5回大会のエントリー抽選時に優先的に抽選し、1000人が当選。この抽選で外れた方は、一般エントリーに戻し抽選する（再エントリー不要）。種目はマラソン（個人）のみ。

7. その他

- (1) マラソン（市民アスリート除く）及びチャレンジランは、定員を超えた場合は抽選を行う。
- (2) 抽選結果は6月上旬頃に通知予定
- (3) その他詳細は2月下旬以降に大会公式HPや募集要項で周知予定

チャリティ事業について

第5回大会では、第4回大会のチャリティスキームを継続するとともに、「チャリティアンバサダー」や「チャリティランナー」による寄付参加への呼びかけの他、「なないろチャリティTシャツ」に加え、今大会から新たに「なないろチャリティキャップ」の販売や「なないろチーム対抗戦」を実施するなどの取組みを行います。

(1) チャリティ寄付先団体の拡充

第5回大会に向け、チャリティテーマ「美しいまちを支える」活動を行っているチャリティ寄付先1団体を追加公募し、選考の結果、1団体を決定。

併せて、既存の13団体を第4回大会から第5回大会へ継続することに決定し、第5回大会のチャリティ寄付先団体は、7つのテーマを各2団体、合計14団体となる（別添「第5回大阪マラソン 寄付先団体一覧」参照）。

(2) チャリティスキームの継続

ランナーエントリー時に、一人2口以上（1口=500円）の口数で、支援したいチャリティテーマを選択するチャリティ募金など、基本的なスキームは第4回大会の方針を継続する。

(3) チャリティアンバサダーの起用

大阪にゆかりのある著名人などを起用した「チャリティアンバサダー(=大使)」が、チャリティプログラムの意義などについて広くPRすると共に、ジャパングビング(※)等を活用した寄付の呼びかけや大会の盛り上げを行う。

※平成27年1月21日付けでサイト名を「ジャストギビング」から「ジャパングビング」へ変更

(4) チャリティランナーの募集（継続）

チャリティ活動への理解を深め、支援の輪を広げていくことを目的に、チャリティに対する関心が特に高い方に、チャリティランナーとして参加していただけるよう、ランナー募集開始と同時にチャリティランナーを募集する。

- ◆種 目：マラソン 個人（登録・一般）のみ
- ◆募 集 期 間：平成27年4月6日（月）10時～7月31日（金）17時
- ◆募 集 予 定 人 数：350人（先着順）
- ◆寄 付 目 標 金 額：7万円以上（寄付先団体の中から1団体選択し、寄付目標金額は自己申告）
- ◆申 込 方 法：インターネット（PC・スマートフォンに限る）
- ◆チャレンジ期間：平成27年4月6日（月）10時～9月30日（水）

(5) なないろチーム対抗戦の実施（新規）

エントリー時に支援したいチャリティテーマ、チャリティ寄付先団体の活動内容をもとに、7つのチャリティカラーから1つを選択。

同じカラーを選んだランナー全員を1つのチームとみなし、チーム毎の完走者の平均タイムを競う。一番速かったチームが優勝とし、優勝チーム（完走者）の中から抽選で500名の方に第6回大会の出場権を進呈。

※車いす、チャレンジランは、平均タイム算出及び抽選は対象外

(6) なないろチャリティTシャツ等の制作・販売

第4回大会に引き続き、第5回大会においても、FM802のアートプロジェクト「digeout」がプロデュースするオリジナルデザインのTシャツ(7種類)を制作し、参加ランナーを対象に限定販売する。メディアと共同した話題提供により、チャリティプログラムのさらなる浸透をめざす。

※販売価格：4,000円(制作費等を除く2,000円が寄付金)

また、名前やニックネームを入れたナンバーカードやなないろチャリティキャップを販売。

※販売価格：なないろチャリティキャップ2,000円、名前やニックネームを入れたナンバーカード500円(ともに制作費等を除く金額が寄付金)

(7) チャリティ募金について

- ジャパンギビングサイト内の大阪マラソン特設サイトの工夫
チャリティの活動内容がよりわかりやすく伝えられるようジャパンギビングと調整していく。

- なないろハイタッチ手袋の進呈

第4回大会に引き続き、第5回大会においても、沿道応援において、ランナーに手を振ったり、ハイタッチしながら応援するためのグッズとして、EXPO会場や大会当日の沿道募金で一定金額以上の寄付をいただいた方に進呈する。

第5回大阪マラソン 寄付先団体一覧

番号	チャリティテーマ (色)	主な活動内容	団体名	寄付金使用用途	新規団体
1	生きる希望を支える (赤)	iPS 細胞による再生医療・創薬の研究	京都大学 iPS 細胞研究所	医療応用に向けて所内の革新的な研究に対する支援や、iPS 細胞技術の特許の取得、研究所の安定的な運営に活用	
2		がん患者とその家族をサポート	特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー	がん予防啓発リーフレットと啓発バッジの制作や、関西でのがん患者とその家族への心理社会的サポートなどに活用	
3	夢を支える (オレンジ)	知的障がいを持つアスリートを支援	公益財団法人スペシャルオリンピックス日本	スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・福岡」の開催など、知的障がい者にスポーツの機会を提供	
4		若年無業の状態にある若者たちへの就労支援	特定非営利活動法人育て上げネット	経済的に困窮した若者が自己負担なく、＜若年者就労基礎訓練プログラム＞を受講できるように活用	
5	家族を支える (黄)	世界各地の恵まれない人々への医療支援	特定非営利活動法人世界の医療団 (認定NPO法人)	乳幼児死亡率が高いラオスで、当団体が実施している小児医療プロジェクトの医療費として、5歳未満児の健診や診察の無料化などに活用	
6		難病の子どもとその家族全員をサポート	公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢を	難病の子どもとその家族がユニバーサル・スタジアム・ジャパンなどを訪れる家族全員旅行の実施や、当団体の関西での活動開設などに活用	
7	自然を支える (緑)	国内外で森づくりを推進	一般社団法人 more trees	森林荒廃が深刻なフィリピン・キリノ州での植林事業や、果樹を同時に育てることで現地の貧困を削減する事業に活用	
8		東日本大震災で失われた海岸林を再生	公益財団法人オイスカ	津波で失われた宮城県名取市の海岸林約100haの再生をめざして行う50万本の育苗および植栽や、これらを通じた被災農家などの生計支援に活用	
9	きれいな水を支える (水)	途上国の人々に安全な水と衛生を届ける	特定非営利活動法人ウォーターエイドジャパン	世界では約7億6800万人の人々が安全な水や、約25億人の人々が適切なトイレが使えず、これらの人々が安全な水、適切なトイレが使えるようにアジア、アフリカで実施する支援プロジェクトに活用	
10		難民や避難民の保護・支援	特定非営利活動法人国連UNHCR協会	アフリカの難民キャンプで難民1人につき最低1日15リットルの給水事業に活用	
11	子どもの未来を支える (紺)	飢餓と貧困で苦しむ地域へ食糧支援	特定非営利活動法人国連WFP協会	アフリカの子どもたちが飢えることなく健全に成長し、学び、将来、貧困を克服することをめざす「学校給食プログラム」に活用	
12		病児保育でひとり親家庭をサポート	仮認定特定非営利活動法人ノーベル	ひとり親家庭に2年間病児保育を提供し、「子どもの急病時でも仕事を続けられる安心感」「ひとり親家庭の就労・経済的自立の支援」「子どもに貧困が引き継がれる連鎖の断ち切り」を実現することに活用	
13	美しいまちを支える (紫)	若者による街の美化活動	特定非営利活動法人 greenbird	全国各地、とくに関西での清掃活動のボランティアを行う際の活動資金に活用	
14		大阪の魅力向上のため、府内のまちをきれいにする	特定非営利活動法人スマイルスタイル	若者就労支援活動に取り組む民間型ハローワーク「ハローライフ」等を通じた情報発信を充実させ、幅広い層が参加できるごみ拾い活動を継続していくための活動資金に活用	○

ボランティアについて

■活動イベント

活動日時	活動内容
大阪マラソン EXPO2015 準備 10月22日(木)	ランナー配布物の封入作業 など
大阪マラソン EXPO 2015 10月23日(金)・24日(土)	ランナー受付、総合案内所 など
第5回大阪マラソン 10月25日(日)	コース沿道整理、ランナーへの給水・給食、 スタート・フィニッシュ会場でのランナーサービス、 手荷物預かり・返却 など

■募集内容

区 分	団体ボランティア	個人ボランティア	力持ちボランティア
定 員 ※変更となる場合あり	10,000 人		
申込単位	1 団体につき 10 人以上	1～5 人	
要項発表	4月上旬予定		
申込受付開始	5月上旬予定 ※郵送により受付定員に 達し次第締切り	6月上旬予定 ※郵送・インターネットにより 受付定員に達し次第締切り	5月上旬予定 ※郵送により受付定員に 達し次第締切り

■支給物品

ウェア・キャップ など

※報酬・食事・交通費の支給はなし

今後の主なスケジュールについて

- 2月19日（木） ■「東京マラソン EXPO2015」への出展（～21日（土））
- 4月 2日（木） ■市民アスリートエントリー開始
（～4/17(金) 1000人 先着順）
- 4月 6日（月） ■ランナーエントリー開始（～5/8(金)）
■チャリティランナーエントリー開始（～7/31(金)）
- 5月 ■ボランティア（団体・力持ち）募集開始
■沿道応援イベント参加者募集開始
- 6月 ■ボランティア（個人）募集開始
■ランニングイベントの開催（14日（日））
（ヤンマースタジアム長居）
●大阪マラソン組織委員会（第15回）
・H27年度事業計画等
- 10月 ■商店街等との連携によるPR展開〈予定〉
■シカゴマラソンに選手を派遣（大阪在住男女各1名）
●大阪マラソン組織委員会（第16回）
・第5回大阪マラソン詳細等
- 10月23日（金） ★大阪マラソン EXPO2015（インテックス大阪）
（～25日（日））
- 10月25日（日） ☆「第5回大阪マラソン
～OSAKA MARATHON2015～」開催
★大阪マラソン沿道応援イベント開催